

環境ビジョン 5

みんなで取り組むまち

21世紀の自治体のあり方として、自然生態系と共生し、持続的に成長・発展していく地域経済社会を構築することが求められています。

そのために、行政は、職員の資質や環境意識の向上だけでなく、各主体の模範となるよう組織としての機能を高めていくことが重要です。

また、地球環境問題や地域の課題に対し、総合的な視点で取り組むためには、行政の持つ情報をできる限り公開して共有化を図り、地域住民が主体的に地方自治に関わるしくみづくりや支援をしていくことが必要です。

本市は、地域に住む一人ひとりの「気づき」を起点に、その行動を地域の「連携」へと広げ、住民や団体・事業所・行政の協働による「持続可能な市民自治社会」の実現をめざす「エコガバナンス宣言」を行いました。

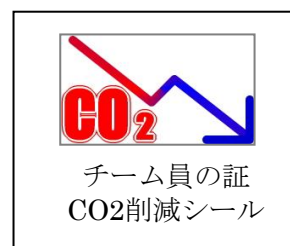
わたしたちは、地球環境問題や地域の課題に対して『みんなで取り組むまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

1 職員力

●職員の資質向上

持続可能な社会を構築していくためには、職員各々が実施している事業に対し、環境に配慮した視点を持つことが必要です。喫緊な課題である「気候変動」などに対する正しい知識を持ち、職員自ら率先行動するため、全職員を対象に定期的にメーリングリストで環境情報を提供しています。

なお、平成21年9月、鳩山内閣総理大臣がニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、我が国の目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することを表明しました。これにより国民運動が「チーム・マイナス6%」から「チャレンジ25」に変わったため、メーリングリスト名も平成22年1月から変わっています。



■チャレンジ通信発行 Vol.104 ~ Vol.150 (計47号発行) 【H24.4月~H25.3月末】

【組織づくり】

市では、平成22年度から、新たに「総合政策部」なる組織を新設しました。部長以下総勢4人(平成24年度)の小さな所帯ですが、施策事業の開始から一貫して取り組むことが求められる「部」として設置された組織です。

これまでの予算費目別・縦割り型組織とは別に、特定政策実現のために、全庁を横断(縦貫)する組織を所掌し、事業を引っ張る役割を負っています。

総合政策部は、各部の仕事が円滑に進むよう総合調整をする役割ではなく、それ自身が車の「エンジン」となることを求められた組織です。これまでの事務事業の流れの延長に

はない、新たな政策課題や事業目的の実現に向かって、それに関係する各部の事業を再構成し、総動員していく力が求められています。平成24年度は、「自治基本条例」、「新庁舎建設問題」の2つの大きな課題を取り扱いました。

●率先行動

【行動計画と進行管理】

市では、温室効果ガス削減や経費削減のため、ひとつの事業所の率先行動として平成20年6月に「新城市地球温暖化防止実行計画～職員一人ひとりの率先行動～」を策定し、平成23年4月に、第2次計画を策定しました。これにより「ごみ排出量」や「燃料消費料」、「電力使用料」などの管理を実施しています。

■【目標】平成18年度の実績を基準とし、平成32年度までに二酸化炭素排出量を25%削減する。

平成18年度と比較した平成24年度の温室効果ガス排出量は、5.8%減となった。これは、中部電力浜岡原子力発電所の運転停止に伴う電力不足に対し、職員一人ひとりによる室内温度の設定や昼休み消灯徹底などの節電行動を進めることで、電気使用料等を減少することができた。

平成18年度（基準年）	平成24年度実績値	削減率（%）
23,886,813 (kg-CO ₂)	22,504,440 (kg-CO ₂)	5.8 %減

【市民・事業所との連携】

市では地域の方々や事業所に対し、施策の計画段階からの参画を求め、合意形成を図りながら連携して取り組む仕組みの構築に取り組んでいます。

そのひとつに環境基本計画が挙げられます。

この計画は、平成20年3月に策定された総合計画を環境面で後押しするものとして、市民のみなさんと常にオープンな会議のもとで平成20年10月に策定しました。この計画の進捗状況をみなさんにお知らせするため、年に一度、環境報告書を作成・公表しています。

また、平成22年10月に、この計画に掲げられている「環境ビジョン」を強力で推進していくための具体的な行動計画「(仮称) しんしろアジェンダ21」の策定に向けた会議を設置し、計画の策定に取り組んでいます。

今後、「市民自治社会の実現」に向け、みなさんや事業所との連携により環境基本計画を進めていきます。

2 市民力

●リーダー養成

市では、環境問題について関心をもち、知識を得るにとどまらず、環境保全のためのスキルを習得し、自ら行動するとともに、職場や地域社会においてリーダーシップを発揮し得る「環境リーダー」を養成する講座を開催しています。

また、広大な市域の約84%を占める森林は本市の特徴ですが、森林の有する公益的機能を保持するために行政・NPOなどが連携し、森林を整備していく地域の人材を育成していく事業も実施しています。

「市民参加の森づくり」事業において技術を身に付けた10名はNPOや森林組合に所属し、森林整備に携わる傍ら、指導をする側として次の森林整備の担い手育成に参加しています。



●活動の促進

環境問題の多くは、個々の取り組みだけでは解決できません。個人の取り組みからグループの取り組みへ、また、それが事業所や行政区域を越えた団体と連携した取り組みになっていくことも重要です。

市民のみなさんとの協働事業のひとつであるキャンドルナイト新城実行委員会は、いつ、どこで、誰と、どんなかたちでイベントを創出していくのかを共に考えながら企画しています。

イベントを成功させるため、また、定着させていくために、事業所の方々にもイベントに対する理解を求めながら進めています。

このほかにも、市民のみなさんが企画し、運営している「しんしろ節句まつり」において古着を使った吊し雛の展示や「エコファッションショー」が開催されるなど、環境意識の高まりが行動に表れるようになりました。

また、情報提供をさまざまなかたちで事業者や市民のみなさんに届けることは、パート



ナーシップを構築するうえで非常に重要です。市では広報紙やホームページを利用しながら、さまざまな情報を提供しています。

毎月1回発行される「広報しんしろ・ほのか」においては、環境情報ページとして「エコとぴっくす」を掲載しています。また、特にみなさんにPRすべき環境情報は、広報担当課と調整を図り、特集記事として掲載します。

◇広報への情報掲載状況

月（発行月）	掲載した主な環境情報
5月号（4月）	<ul style="list-style-type: none"> ・流域モニタリング一斉調査の参加者募集 ・「緑のカーテン倶楽部」コンテスト参加者募集 ・太陽光発電システム設置費補助金交付のお知らせ ・紙製品のリサイクル ほか
6月号（5月）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会委員、キャンドルナイト新城実行委員の募集 ・生ごみ処理器の活用 ほか
7月号（6月）	<ul style="list-style-type: none"> ・「新城市民節電所第1号としての夏の取組 ・コバエの大量発生 ほか
8月号（7月）	<ul style="list-style-type: none"> ・「親と子の走る環境教室」参加者募集 ・「しんしろクリーンフェスタ（第1回）」結果報告 ほか
9月号（8月）	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学スモッグ予報、注意報発令に対する注意 ・紙類資源化に向けた説明会開催のお知らせ ほか
10月号（9月）	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャンドルナイト新城」開催のご案内 ・不法投棄の撲滅について ほか
11月号（10月）	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電の可能性調査の実施と情報提供の呼びかけ ・紙類資源化説明会の内容についての紹介 ほか
12月号（11月）	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテン倶楽部コンテスト」、「省エネコンテスト」開催結果 ・「しんしろクリーンフェスタ（第1回）」結果報告 ほか
1月号（12月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理実績の報告 ・第1回「市民環境講座」開催のお知らせ
2月号（1月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回「市民環境講座」開催のお知らせ ・「新城市省エネルギー及び再生可能エネルギー推進条例」制定 ・ごみの自己搬入方法のお知らせ ほか
3月号（2月）	<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車運転状況実績の報告 ・第3回「市民環境講座」開催のお知らせ ほか
4月号（3月）	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の登録と狂犬病予防集合注射のご案内 ・市では処理できないもののお知らせ ほか

このほかにも広報では、みなさんが「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」を募集し、譲り合うシステムとして「リユースの広場」を設け、毎月掲載しています。

ご家庭で不要となったものでも、みなさんの中にはそれを必要としている人がいます。物を大切に使う意識の高揚のためにもぜひご利用ください。

また、環境講座開催などに関する情報をダイレクトに入手されたい方のために、電子メールや郵送による情報提供も実施しています。

■登録者数 電子メール 19名、郵送 60名

希望される方は環境課へお気軽にお申し込みください。

3 協働

●エコガバナンス

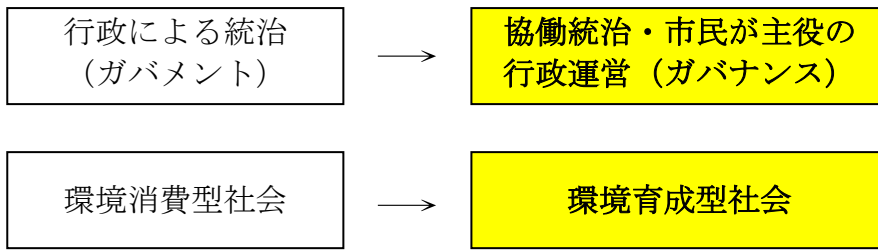
旧新城市は、環境管理の国際規格ISO14001に取り組んできました。「新城市都市環境基本計画」と「新城市環境基本条例」をベースにした環境マネジメントシステムを構築し、平成13年2月の認証取得後も取り組みの内容や職員の資質向上などの継続的改善に努めてきました。

平成17年10月1日、市町村合併により新しい新城市が誕生し、市民・事業所・行政が協働して持続可能な市民自治社会を地域全体でつくりあげていく「しんしろエコガバナンス宣言」(平成18年2月25日)を行い、新たな新城市の環境の取り組みのしくみづくりがスタートしました。

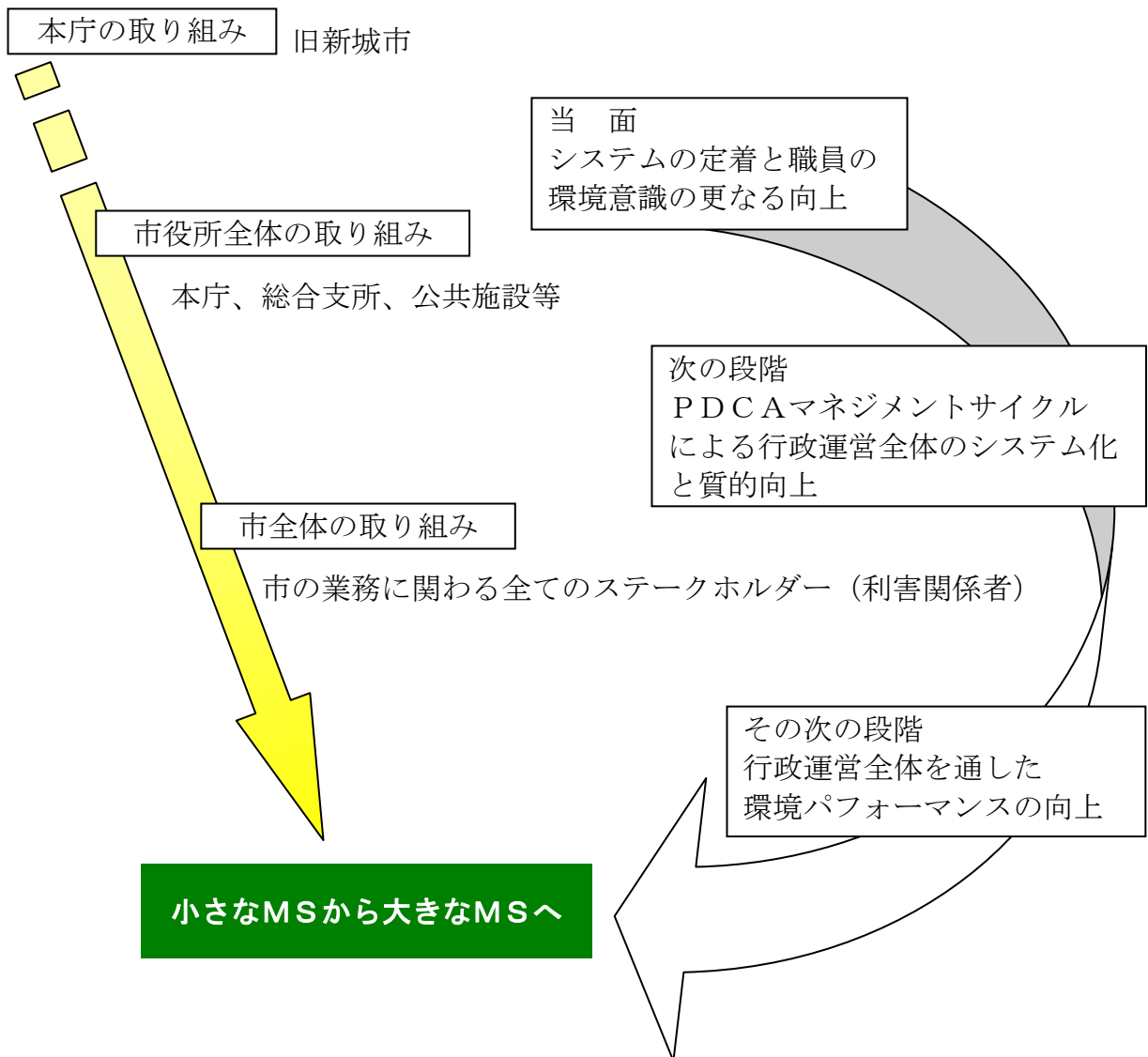
「しんしろエコガバナンス3つの柱」

1. エコオフィス : 紙・ごみ・電気などの取り組みで、事務室や家庭において
(環境行動配慮事業) 環境への悪い影響を減らそうとするもの
2. エコアクション : 温暖化防止の取り組みや河川の水質改善、環境ボランティア
(環境活動改善事業) など環境を保全・改善しようとするもの
3. エコガバナンス : 環境に軸足を置いた市民自治社会の確立と充実をめざし、
(環境連携構築事業) そのしくみを市民みんなでつくりあげていこうとするもの

「しんしろエコガバナンスのめざすもの」



【市町村合併による今後の取り組みの基本方向】



《IS014001 認証取得事業所等連絡会議》

地域における環境に関する取り組みを進めていくには横のつながりが不可欠です。

市では、IS014001認証取得事業所とコミュニケーションを充実することによって、「連携」による環境への取り組みを一層高めていくことを目的として定期的に会議を開催しています。

◇IS014001認証取得事業所等連絡会議名簿（平成24年度末現在）

連絡会議参加事業所	
三菱電機(株) 名古屋製作所新城工場	(株)育良精機製作所 愛知新城工場
(株)大紀アルミニウム工業所 新城工場	BASF INOAC ポリウレタン(株)
横浜ゴム(株) 新城工場	バルカーセイキ(株)
新東工業(株) 新城事業所	光田屋(株)
新東工業(株) 豊川製作所	(株)トンボ鉛筆 新城工場
共和レザー(株) 新城工場	イズテック(株) 新城工場
(株)イアックコーポレーション 八名事業所	(株)高木製作所 新城工場
オーエスジー(株) 豊川	松栄電工(株)
オーエスジー(株) 新城工場	(株)新晃製作所 新城AD工場
(株)アイデン	新城市

〈会議内容抜粋〉

改正もしくは改正の予定がある環境関連法令のほか、以下のような内容について情報交換しました。



会議実施日	主な内容
5月10日 市民体育館第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> 市議会3月定例会における議決結果について 水質汚濁防止法の改正について（愛知県より説明） 環境部の事務分掌、予算、主な事業 ほか
8月21日 市民体育館第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> 市議会6月定例会、7月臨時会における議決結果について 産業廃棄物の再資源化について（企業間の情報交換） ほか
11月14日 市民体育館第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> 市議会9月定例会、10月臨時会における議決結果について 環境関連法の動向 環境審査員資格基準の改定について 4.3.1「環境側面」における有益な事項の抽出について（企業間の情報交換） など
2月13日 勤労青少年ホーム集会室	<ul style="list-style-type: none"> 市議会12月定例会における議決結果について 新城市環境行動計画（しんしろアジェンダ21）策定中の素案について ほか